

学校選択制の現状に関する調査・分析結果について（城東区）

1 目的

本市では、大阪の教育力の向上、充実を図り、教育の振興を推進し、子どもたちの最善の利益を図るため、子どもや保護者の意向に答えていく必要があるとの観点から、平成24年度に学校選択制の制度化を行いました。

地域の実情に即した制度とするため、具体的な制度の方針案を区ごとに策定し、平成26年度入学者から小学校6区、中学校12区で開始。その後、順次、実施してきており、平成31年度入学者からは、小学校・中学校ともすべての区で実施しています（生野区の一部を除く）。学校選択制を利用して通学区域外の学校に就学した児童生徒の割合についても、年々増加している状況となっており、制度として定着してきていますが、制度の導入から年数が経過していることから、検証を行う必要があります。

城東区では、平成27年度の制度導入時に小学校で学校選択制を利用した児童・保護者が、令和3年度に初めて中学校入学時に学校選択制を利用することとなることから、このタイミングを捉え、導入時の「熟議」や「就学制度の改善」において期待されていたメリットや懸念されていた課題について、今後の区及び市全体において必要な改善を行うための材料の一つとして役立てるために、調査・分析を行いました。

2 調査・分析の視点

調査・分析にあたっては、学校選択制導入時の「熟議」や「就学制度の改善について」で期待されたメリットや懸念された課題をふまえ、今後の大阪市の学校選択制を考える上で考慮すべき項目として、次の項目を全区共通の調査・分析の視点として設定しました。

- 【視点①】学校選択制の満足度はどうか
- 【視点②】子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができているか
- 【視点③】子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったか
- 【視点④】特色ある学校づくりが進んだか
- 【視点⑤】開かれた学校づくりが進んだか
- 【視点⑥】児童生徒の通学の安全に課題が生じていないか
- 【視点⑦】学校と地域、保護者の連携に課題が生じていないか
- 【視点⑧】区や学校が提供する情報ではなく、風評等による学校の選択がなされていないか
- 【視点⑨】学校選択制による児童生徒数の増減で、教育的課題が生じていないか

3 調査・分析データ

大阪市では、平成26年度の制度導入より毎年保護者アンケートを実施し、保護者の学校選択理由などを経年的に把握しているところです。

今回の調査・分析を行うにあたり、9項目の「調査・分析の視点」を設定し、各項目の分析に必要な質問を従来の保護者アンケートに追加するとともに、新たに地域団体関係者を対象とするアンケート調査、小中学校を対象とする学校選択制の状況調査を行いました。

【アンケート調査】

保護者アンケート＝令和3年度に区内の市立小・中学校に入学した児童生徒の保護者全員を対象に実施

地域団体関係者アンケート＝学校協議会の地域団体関係委員を対象に実施。

【学校状況調査】

区内の全市立小学校・中学校を対象に実施

【運用状況データの活用】

学校選択制によって通学区域外の学校に就学した者の割合

4 アンケート調査等の実施時期・回収方法など

【保護者アンケート】

令和3年5月下旬に各区役所から学校を通じてアンケートを保護者に配付（学校からの配付基準日：5月19日）。
回収は区役所あて6月9日までに返信用封筒で送付。アンケートは無記名。

【地域団体関係者アンケート】

令和3年5月下旬に、区役所から学校協議会の地域団体関係委員へ配付し、回収。

【学校状況調査】

令和3年5月下旬に1校あたり1枚の調査用紙を配付し、回収。

5 アンケート回収状況

（保護者アンケート）

	配布数	回収数	回収率
小学校	1,317	770	58.5%
中学校	1,235	586	47.4%

（地域団体関係者アンケート）

	配布数	回収数	回収率
地域団体役員等	22	15	68.1%

（学校調査）

	配布数	回収数	回収率
小学校	16	16	100.0%
中学校	6	6	100.0%

6 調査・分析結果

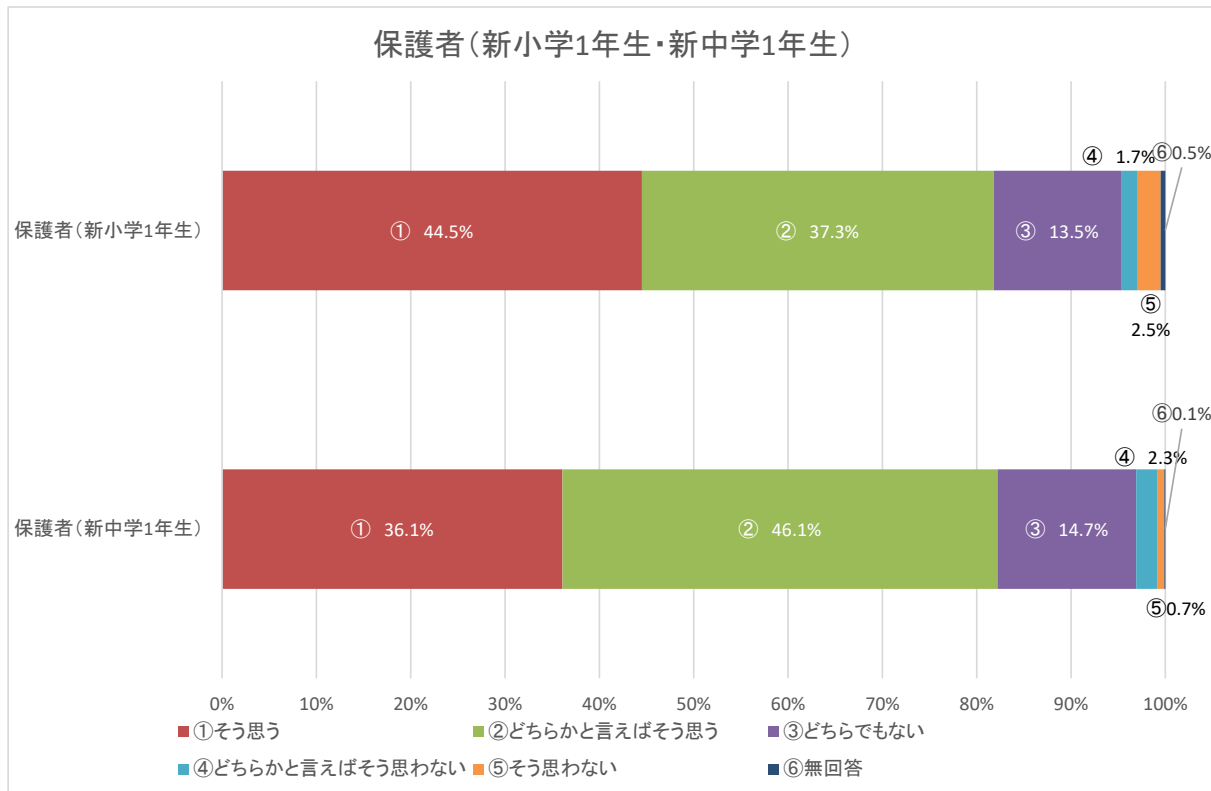
3ページ～30ページのとおり

調査・分析内容

【視点①】学校選択制の満足度はどうか

①学校選択制は、大阪市の子どもや保護者、大阪市の学校教育にとって良い制度だと思いますか。
【保護者アンケート(新小学1年生):問20、保護者アンケート(新中学1年生):問27】<1つだけ回答>

ア)全体



【理由】

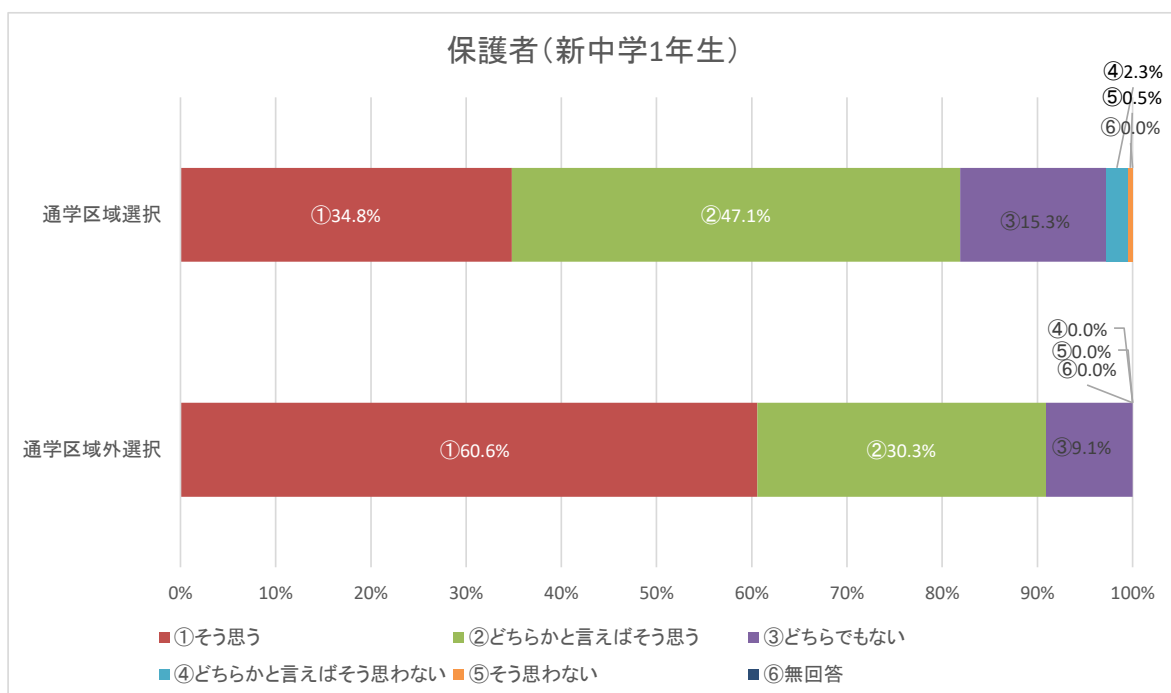
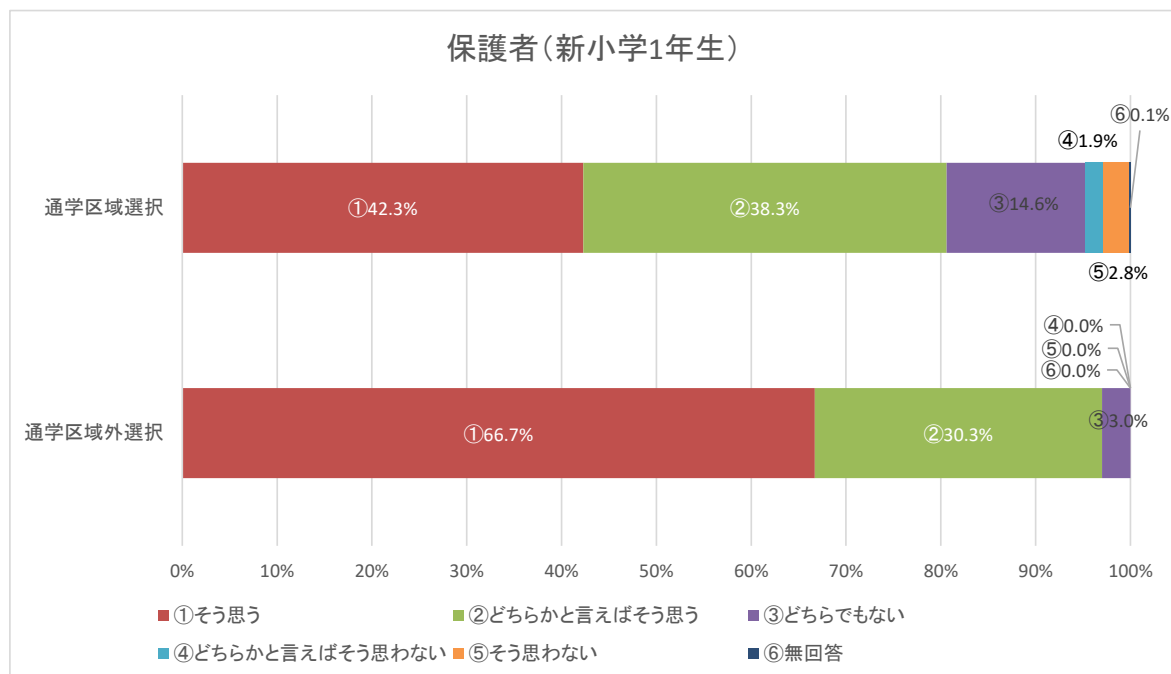
○「① ① ① ① ① ①」「② ② ② ② ② ②」を選んだ方

- ・学校選択制のおかげで、親が子どもに与えたい教育環境・校風を選ぶことができて良いと思う
- ・校区の端に住んでいて別の学校の方が近かったりすることもあるので選択制は良いと思う
- ・いじめや不登校などがあった場合に、校区外の学校を選びやすいと思う
- ・近所の引越してあっても転校しなくていいから

○「④ ④ ④ ④ ④ ④」「⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤」を選んだ方

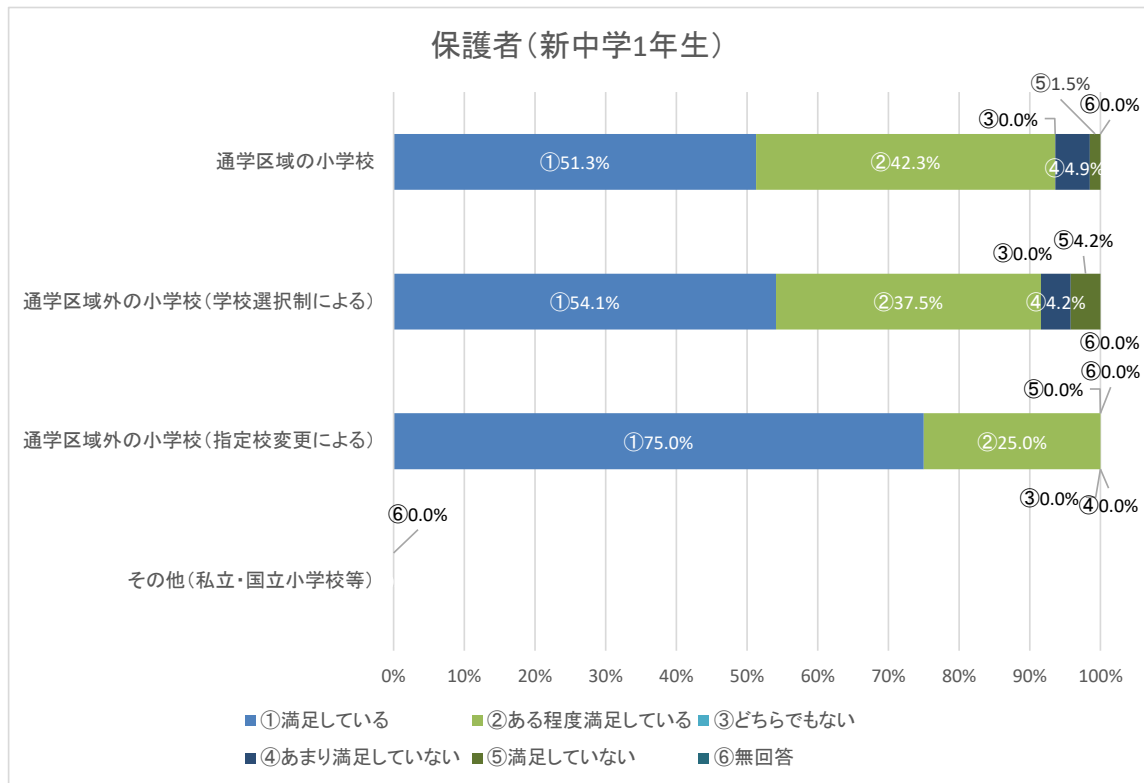
- ・同じ地区の子ども達のつながりがなくなってしまうかもしれないと思う
- ・子どもは地域で育っていくのがいいと思う。地域の方に見守っていただきたいから
- ・選択しなくても、決められた学校に通えば良いと思う
- ・通学路の安全等の理由等やむを得ない事情のないかぎり、決まった学校へ行く方がいいと思う

イ) 通学区域・通学区域外別



②あなたのお子さんが卒業した小学校について満足していますか。

【保護者アンケート(新中学1年生):問19】<1つだけ回答>

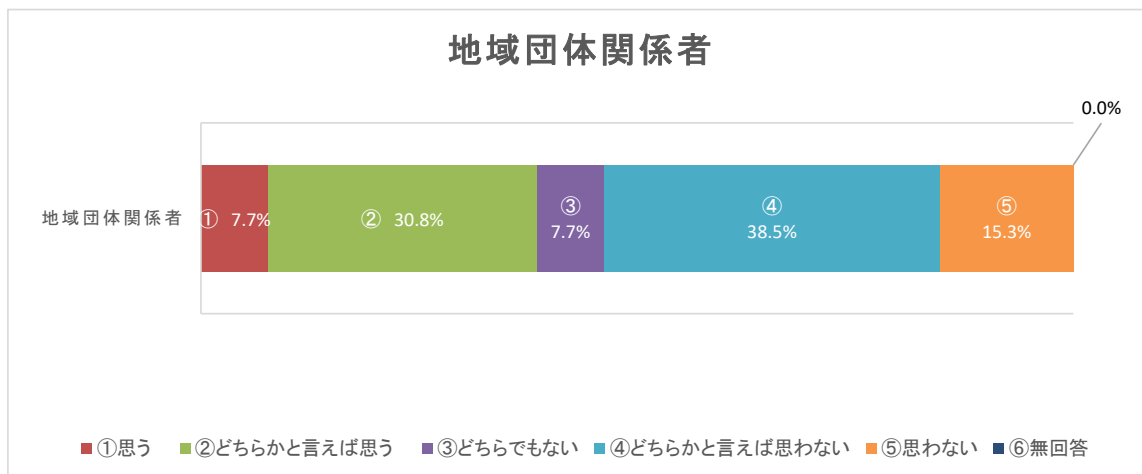


【理由】

- 問題なく過ごすことができたから
- クラス数が2クラスしかなく、先生も生徒に目が行き届いていたから
- 友達も沢山できて、楽しく過ごすことができたから
- とても明るく、良い先生が多かったから

③学校選択制は、大阪市の子どもや保護者、大阪市の学校教育にとって良い制度だと思いますか。

【地域団体関係者アンケート:問6】<1つだけ回答>



【理由】

○「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を選んだ方

- ・本人・保護者が選択出来る事が良い。今まで通りだと保護者の不満が残っているため
- ・区内と限定するのではなく、その学区に隣接する学区と定めた方が皆が納得できるのではないか
- ・子どもには個性や特技があり、それを伸ばせるとする授業やクラブ活動があれば学校を選択出来れば良いと思う

○「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を選んだ方

- ・児童数の減少で廃校になる可能性がある。連合子ども会の活動ができない
- ・良い制度とする為の具体策が見えてこない。
- ・地域の人間関係の希薄化
- ・地域で生まれた子どもは地域で育てほしい

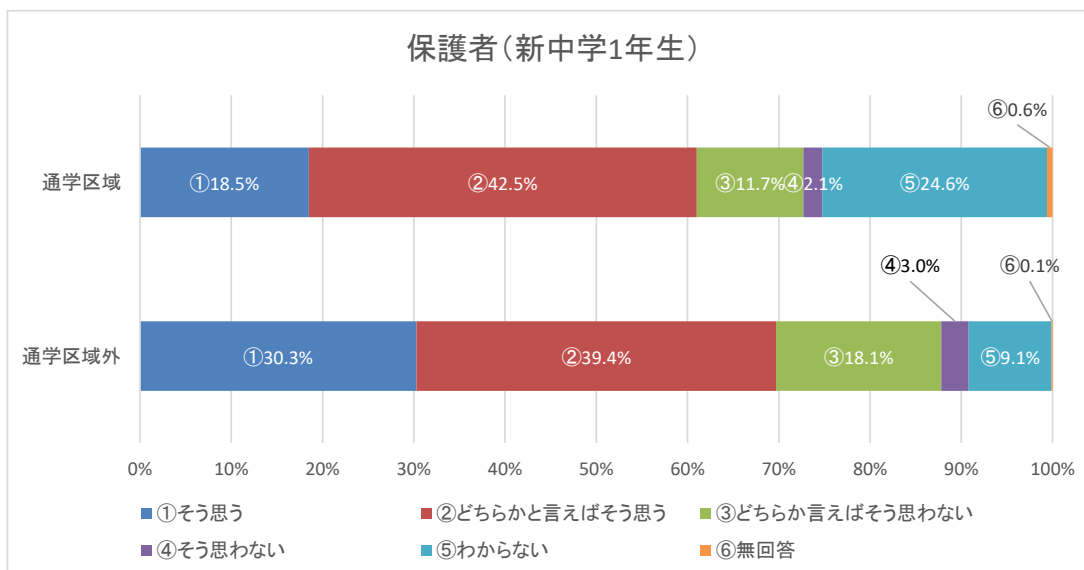
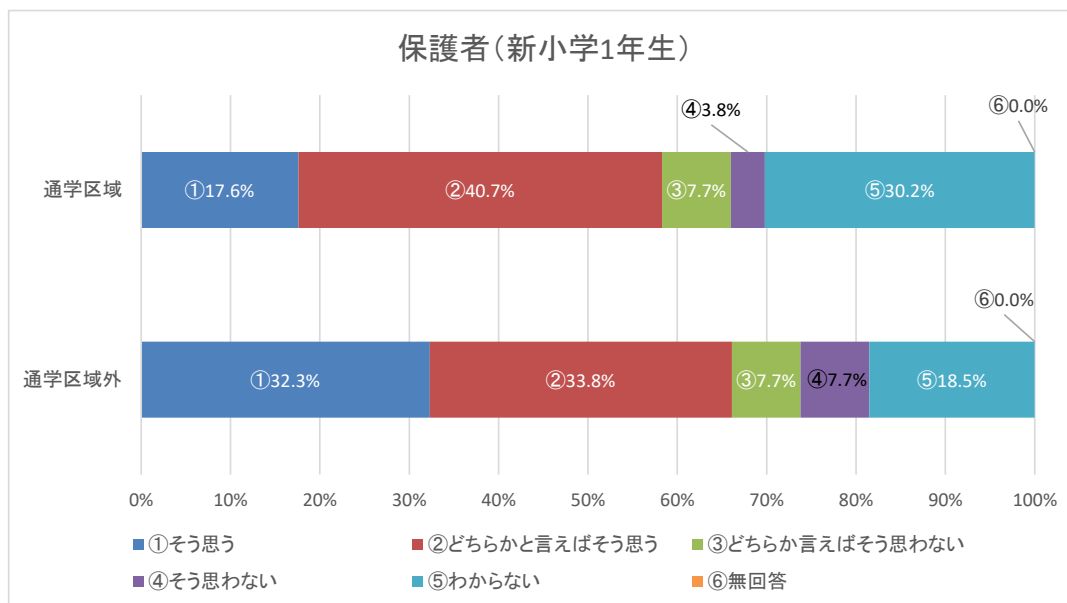
【視点①分析】

学校選択制の制度について、保護者では肯定的意見の割合が高いのに対し、地域では否定的意見の割合が高い。

【視点②】子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができているか。

①学校選択制によって、子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができていると思いますか。

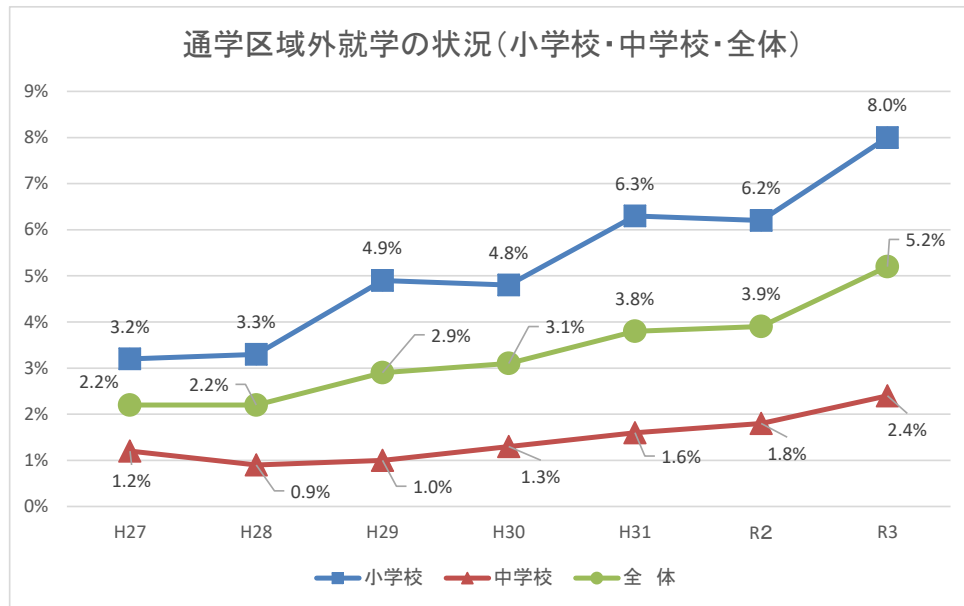
【保護者アンケート(新小学1年生):問18、保護者アンケート(新中学1年生):問22】<1つだけ回答>



②学校選択制による通学区域外の学校への就学の状況

【運用状況データの活用】

大阪市立の小学校・中学校に入学した者のうち、学校選択制で通学区域外の学校に入学した者の割合。



【視点②分析】

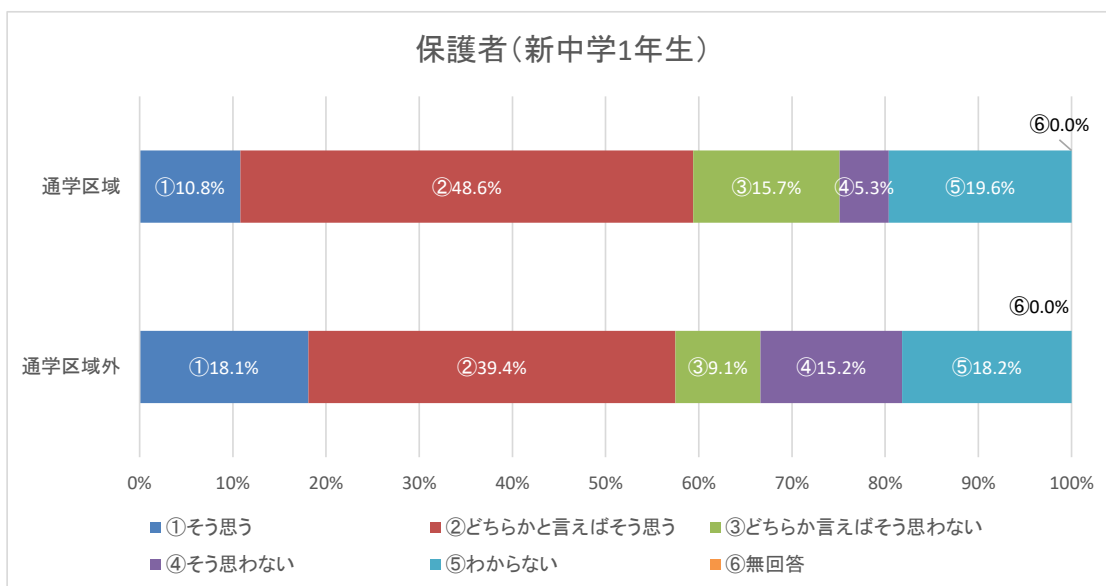
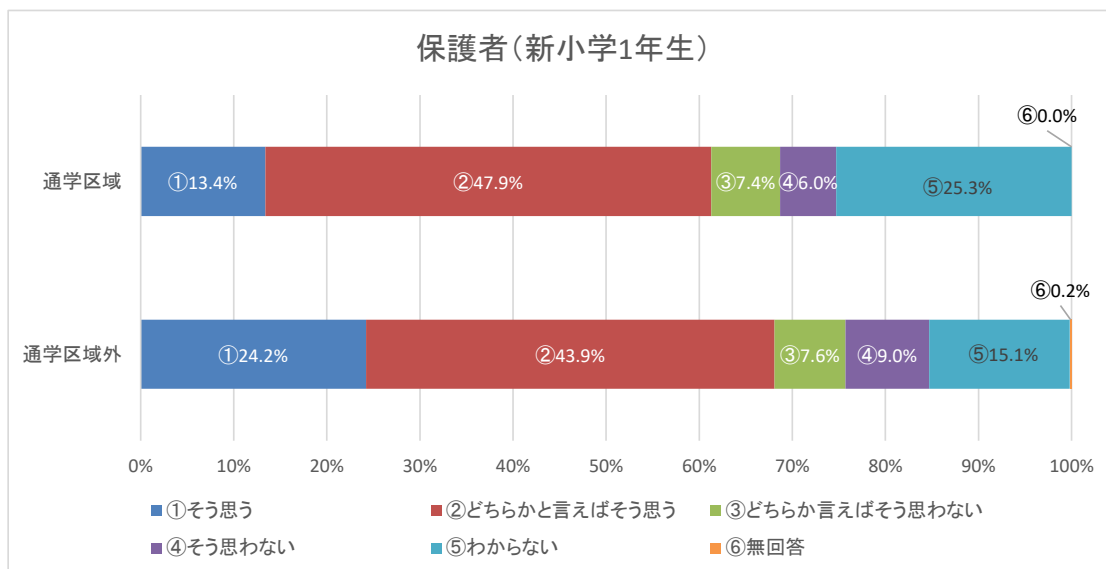
区域外の学校を選択した保護者だけではなく、区域内を選択した保護者についても、半数以上は制度に対して肯定的である。

制度開始以降、学校選択制で通学区域外の学校に入学した子どもの割合は増加しており、制度が定着してきていると見られる。

【視点③】子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったか。

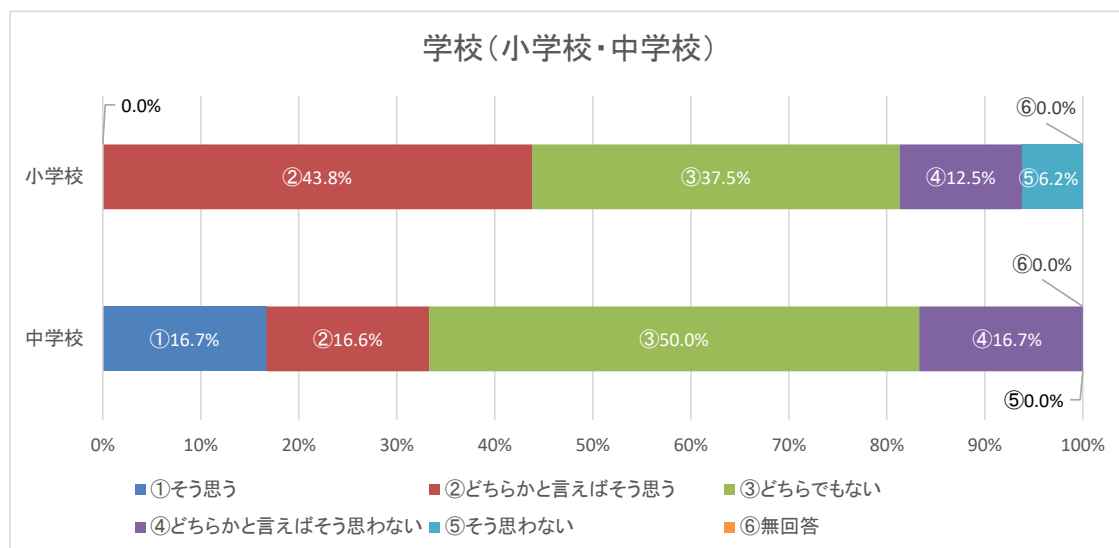
①学校選択制によって、子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと思いますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問19、保護者アンケート(新中学1年生):問23】<1つだけ回答>



②学校選択制によって、あなたの学校において子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと思いますか。

【学校状況調査：問1】＜1つだけ回答＞



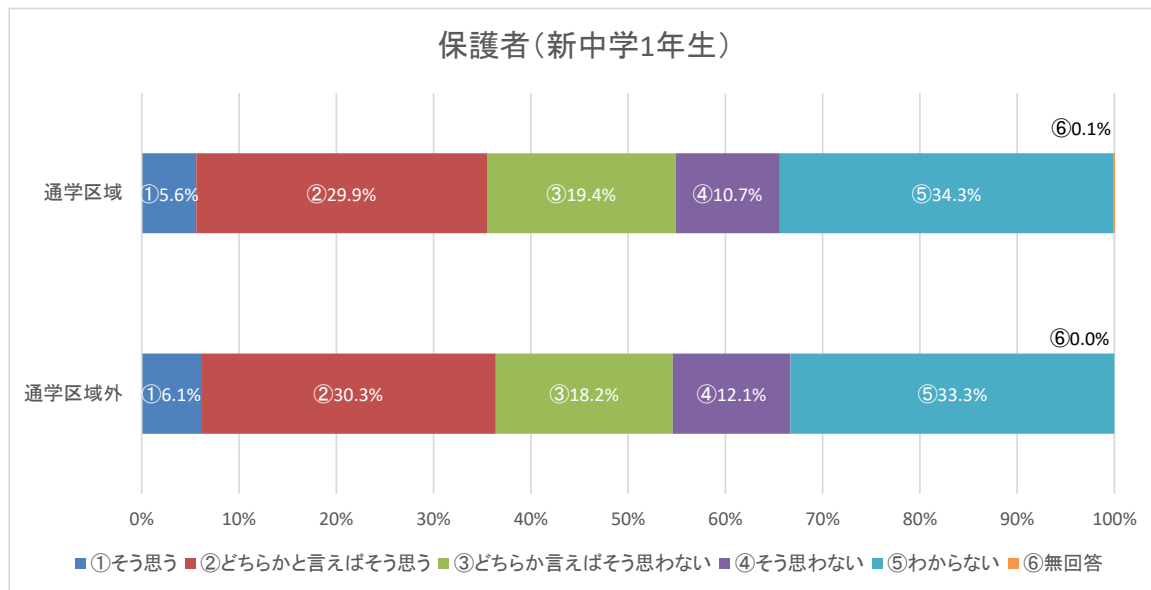
【視点③分析】

小中、通学区内外問わず、6割程度が学校教育に深い関心をもっており、概ね肯定的な評価となっている。選択制によって、学校教育に深い関心を持つようになったと感じる割合については、学校現場よりも保護者で高い傾向にある。

【視点④】 特色ある学校づくりが進んだか。

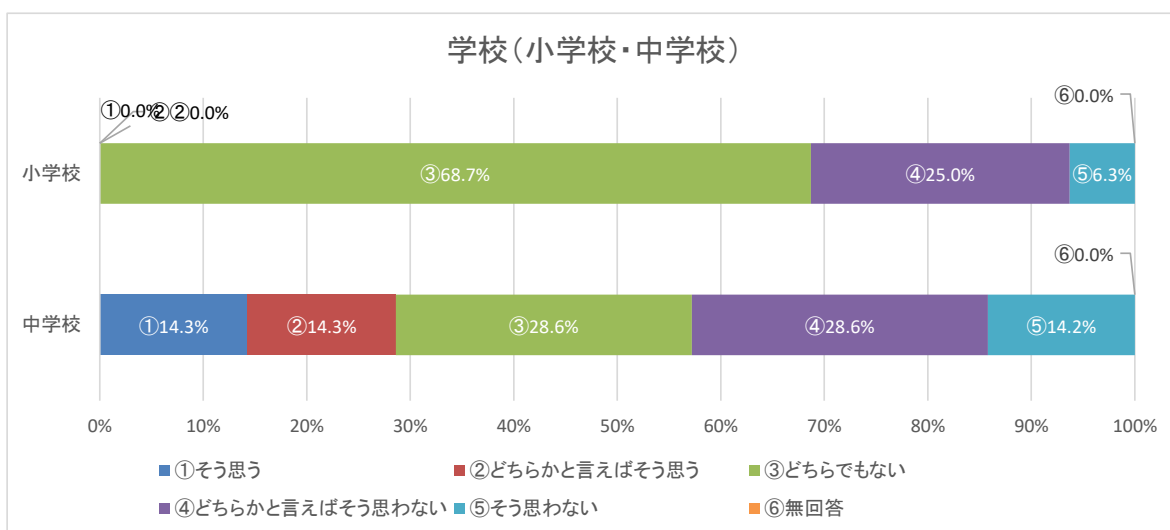
①学校選択制によって、特色ある学校づくりが進んだと思いますか。

【保護者アンケート(新中学1年生):問24]＜1つだけ回答＞



②学校選択制によって、あなたの学校における特色ある学校づくりが進んだと思いますか。

【学校状況調査:問3]＜1つだけ回答＞



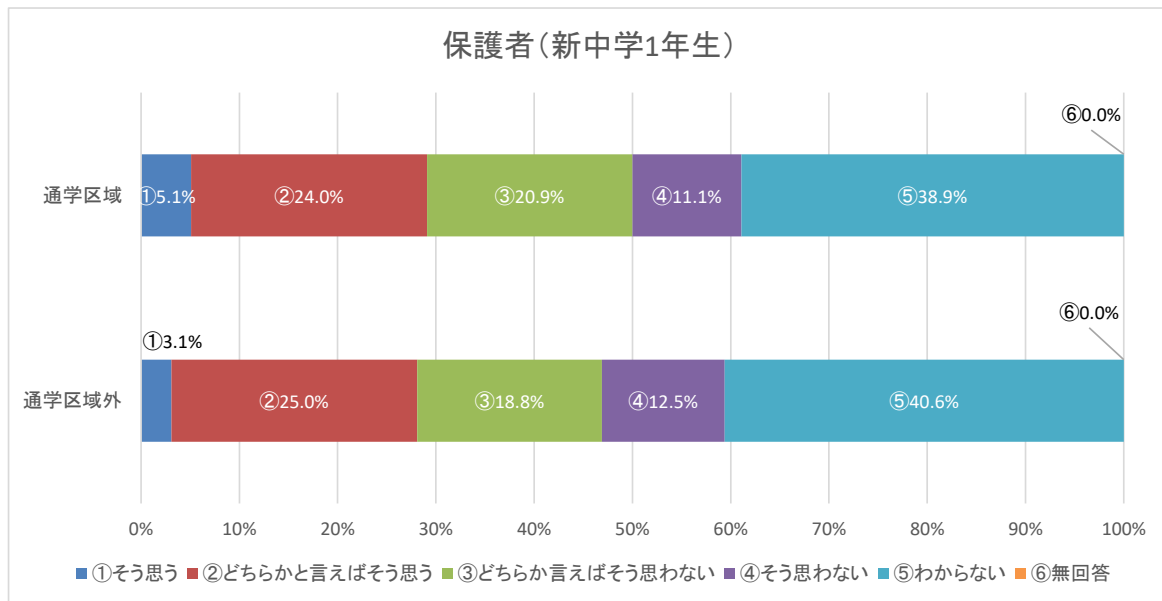
【視点④分析】

保護者、学校でそれぞれ意見が異なっており、学校選択制によって特色ある学校づくりが進んだかについて、本アンケート等の結果からは判断できない。

【視点⑤】開かれた学校づくりが進んだか。

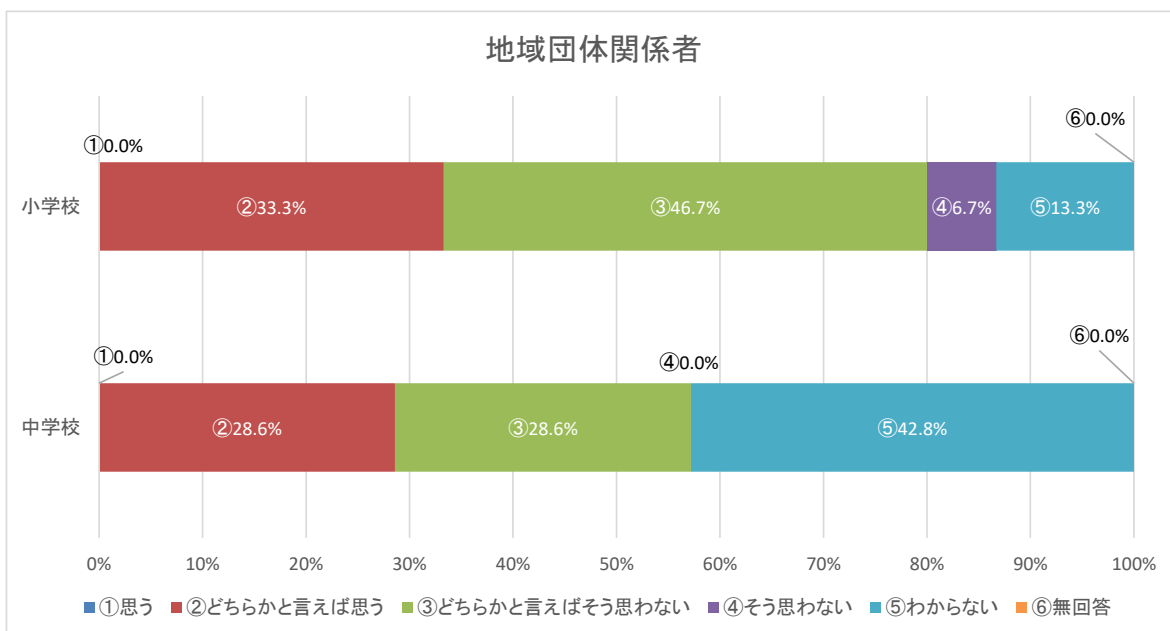
①学校選択制によって、学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組み（授業参観、学校公開など）が充実してきたと思いますか。

【保護者アンケート（新中学1年生）：問25】＜1つだけ回答＞



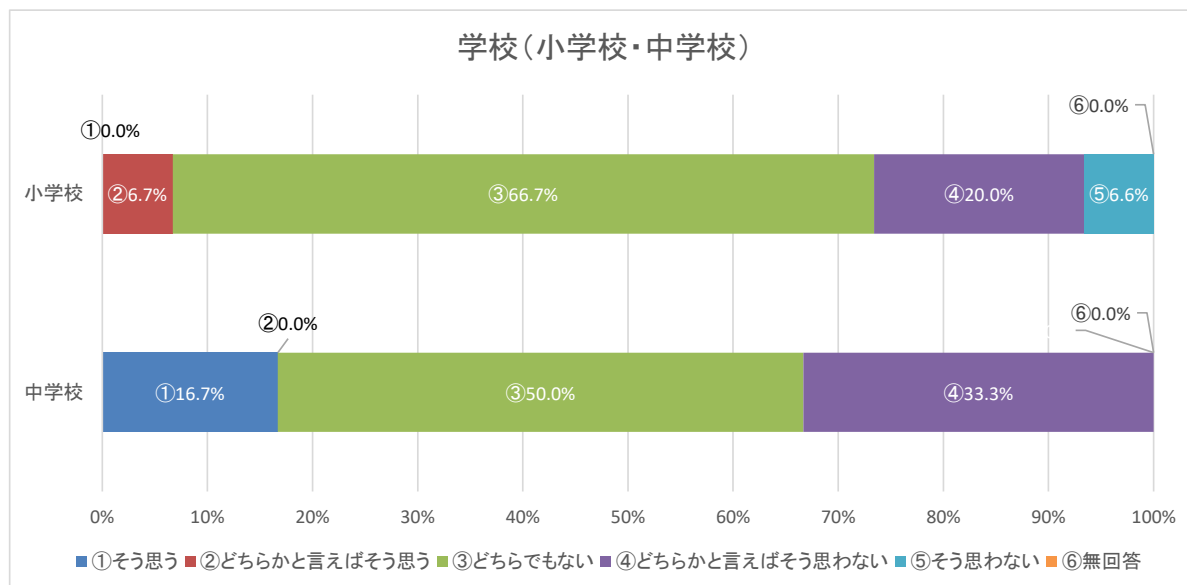
②学校選択制によって、あなたの地域の学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組み（授業参観、学校公開等）が充実してきたと思いますか。

【地域団体関係者：問1】＜1つだけ回答＞



③学校選択制によって、あなたの学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組み（授業参観、学校公開等）が充実してきたと思いますか。

【学校状況調査：問5】＜1つだけ回答＞

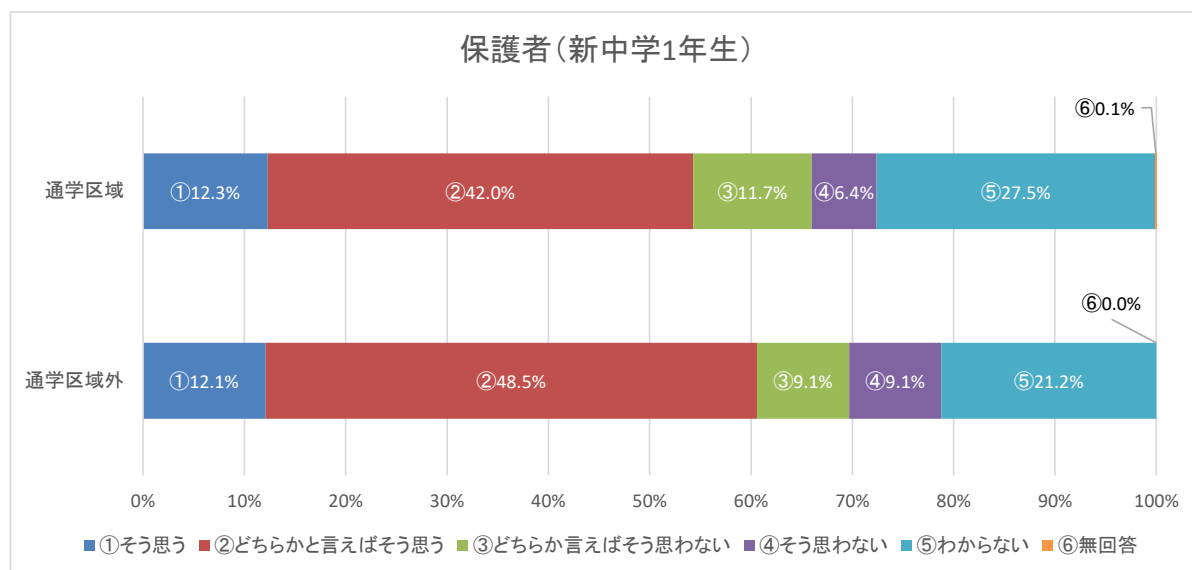


【視点⑥分析】＜学校の取り組み＞

地域、保護者、学校でそれぞれ意見が異なっていることや、「わからない」や「どちらでもない」といった中立的な意見が多数であることから、学校選択制によって保護者や地域住民の参加が進むような取り組みが充実したかどうかについて、本アンケート等の結果からは判断できない。

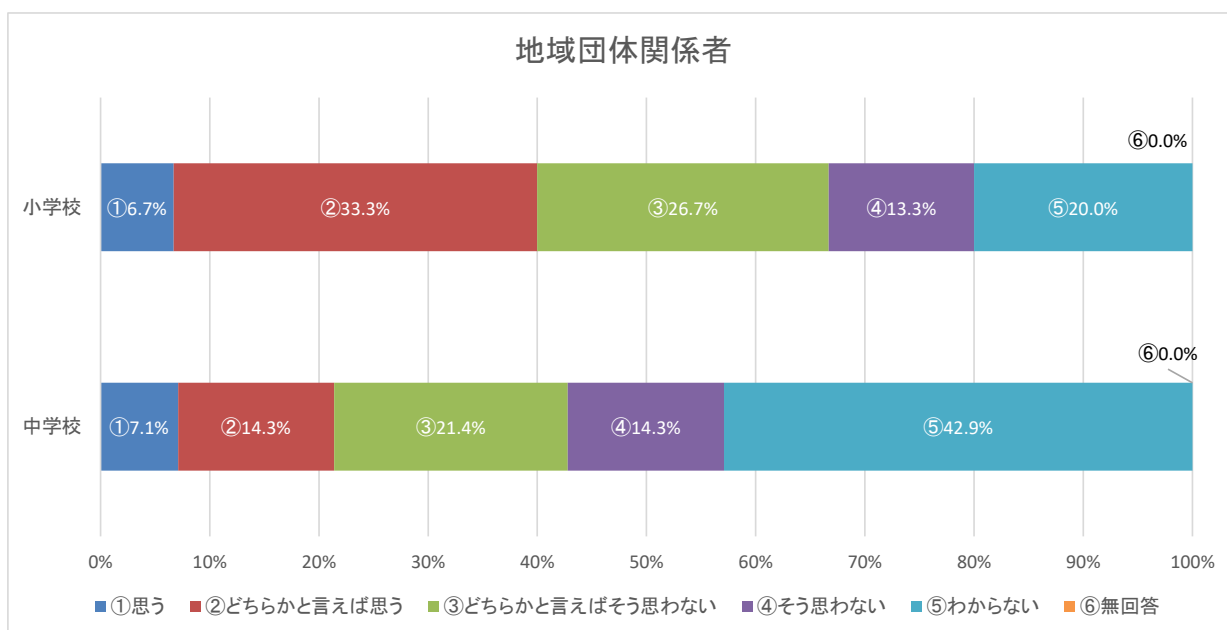
④学校選択制によって、学校における情報発信（学校だより、ホームページの更新など）が充実してきたと思いますか。

【保護者アンケート(新中学1年生)：問26】<1つだけ回答>



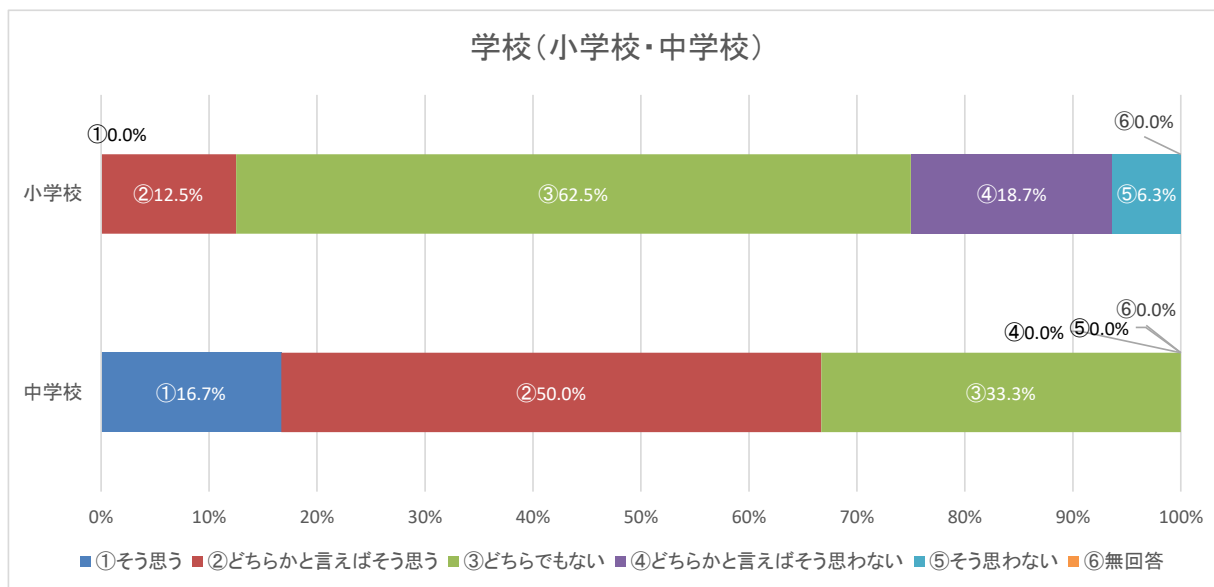
⑤学校選択制によって、あなたの地域の学校における情報発信（学校だより、ホームページの更新など）が充実してきたと思いますか。

【地域団体関係者：問2】<1つだけ回答>



⑥学校選択制によって、あなたの学校における情報発信（学校だより、ホームページの更新など）が充実してきたと思いますか。

【学校状況調査：問7】＜1つだけ回答＞



【主な意見】

- ・ 学校ホームページは休日も含めて毎日更新している
- ・ HPは、ほぼ毎日更新しているが、これは、在籍する児童の保護者及び地域住民に対して充実した本校の教育活動を発信するためであり、他の校区から児童を呼び込もうとするものではない

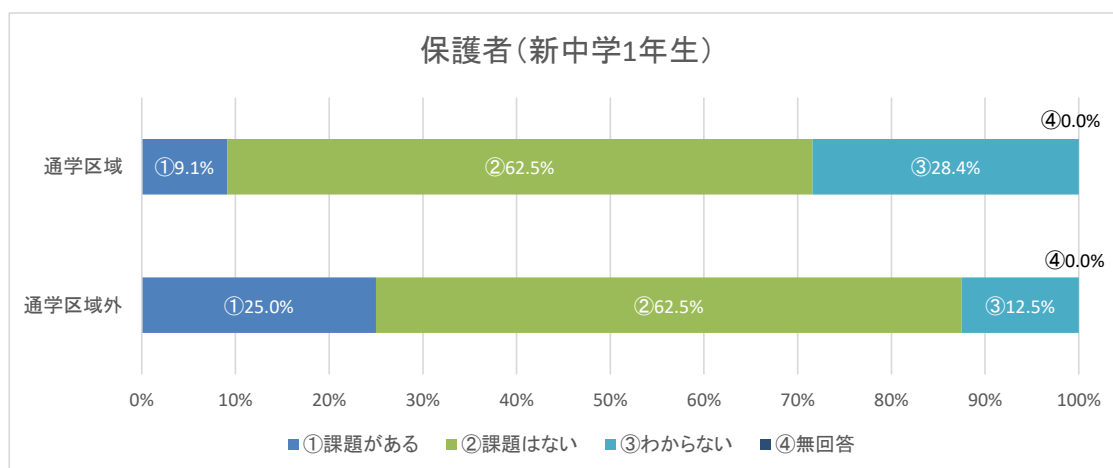
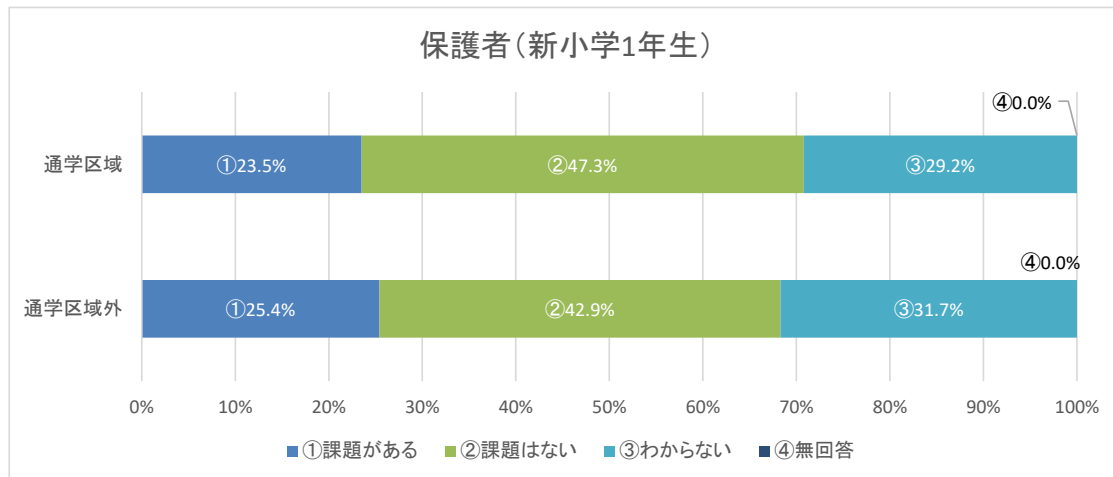
【視点⑤分析2】＜情報発信＞

保護者の評価は、約6割が肯定的で比較的高い評価であるが、地域や学校の評価は必ずしも同じ傾向とはなっていない。

【視点⑥】 児童生徒の通学の安全に課題が生じていないか

①あなたのお子さんの通学の安全に課題が生じていると思いますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問15、保護者アンケート(新中学1年生):問15】<1つだけ回答>



【具体的な課題及び改善のアイデア】

○区域外の学校へ通学している保護者の意見

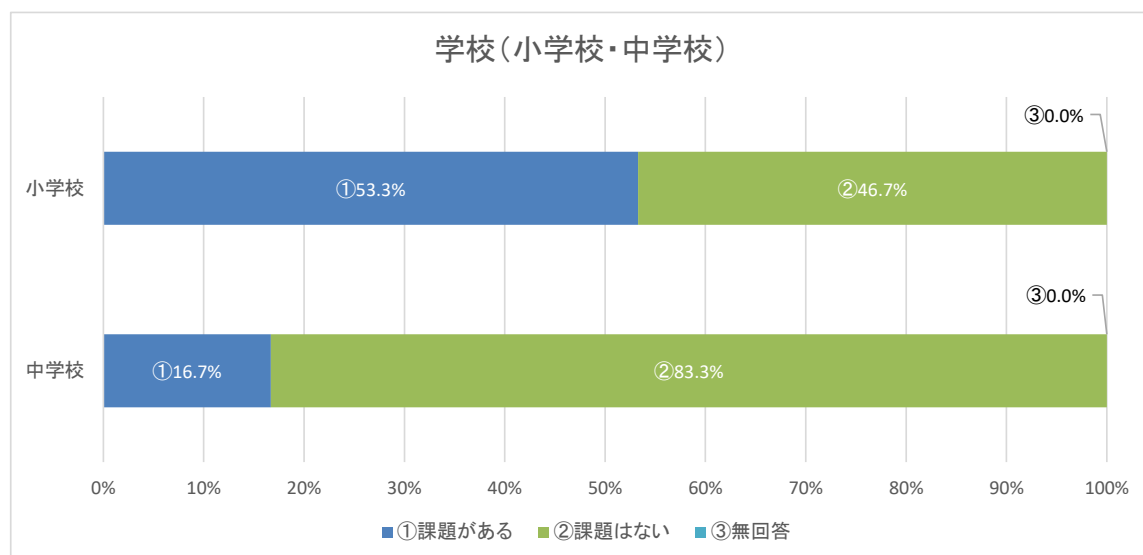
- ・登校班の人数が多いと、最後の生徒が渡りきる前(まん中あたりで)信号が点滅していて危ない
- ・車の通行量の多い道や、人通りの少ない道を調べて注意するよう知らせしてほしい
- ・通っている学校の近くになるまで見守りの方がいない
- ・通学通知メールや至る所に防犯カメラを設置する

○区域内の学校へ通学している保護者の意見

- ・集団登校が廃止されたが、理由があいまいで納得できない
- ・通学路としている道以外を通ってしまうことがあるので、2~3通りの案で選べるようにしている
- ・下校時に同じ方向の学生をまとめて返してほしい
- ・一緒に帰る(同年代の)友達がいらない
- ・集団登校がない
- ・人数が多いと思うので通学路を2通りに増やした方が車などの迷惑にならないと思う
- ・主な通りには防犯カメラを多くつけてほしい
- ・通学路より通学路でない商店街の方が人通り多く安全に感じる
- ・見守り隊の方について、見守るというより集まって自分たちの話し合いの場になっている

②あなたの学校において、学校選択制により、通学の安全に課題が生じていますか。

【学校状況調査: 問9】 <1つだけ回答>



【具体的な課題事例】

- ・ 入学当初は、登下校については保護者が責任をもって送り迎えをするという約束をしているが、保護者が児童を迎えに来られないことがある
- ・ 集団登校をする際の集合場所の複雑化。緊急時の集団下校の際の手間（保護者への連絡や確認）。遠いところから来ることによる登下校時間の負担や安全面
- ・ 選択制で登校している生徒は川を渡って登校してくる可能性がある。特に非常変災時に関わるような大雨がおこると生徒の安全確保が難しい

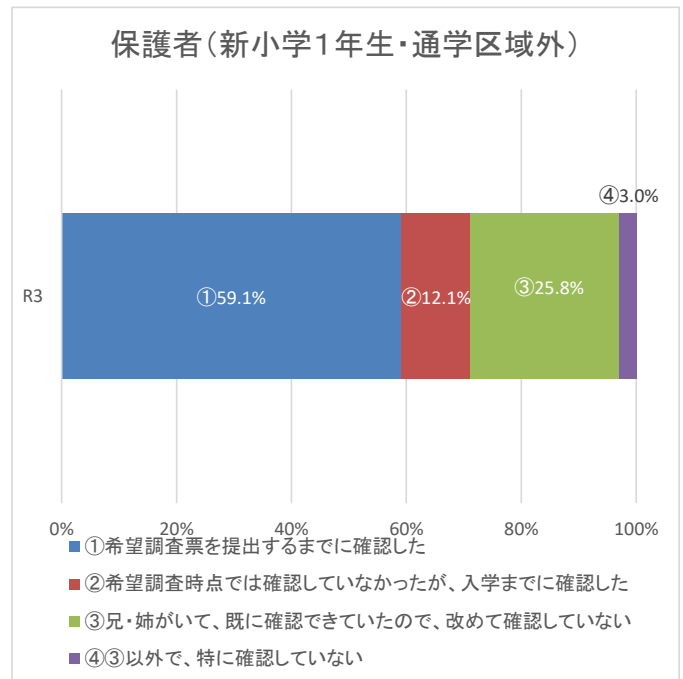
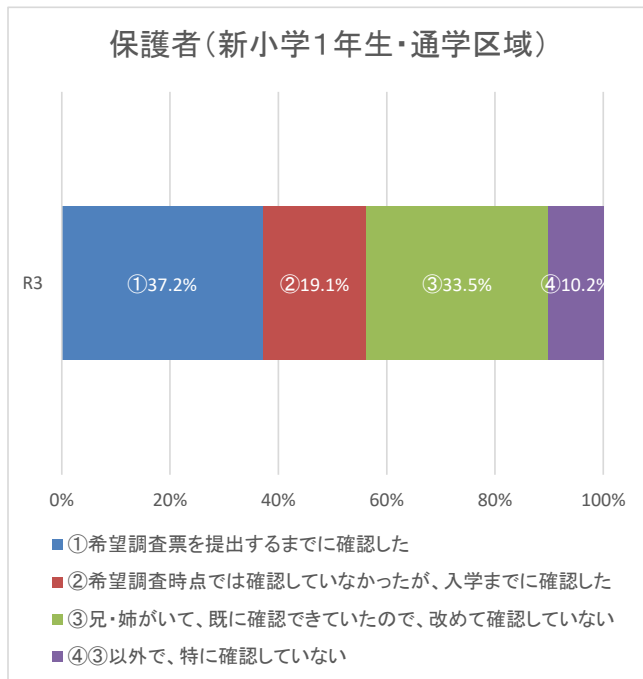
【視点⑥分析1】

保護者の意見は、学校選択制に限らず、自分の子どもに関する課題に関する回答である一方、学校の回答は、学校選択制に関わっての学校全体の課題認識で、それぞれ異なる視点からの課題提起が行われている。

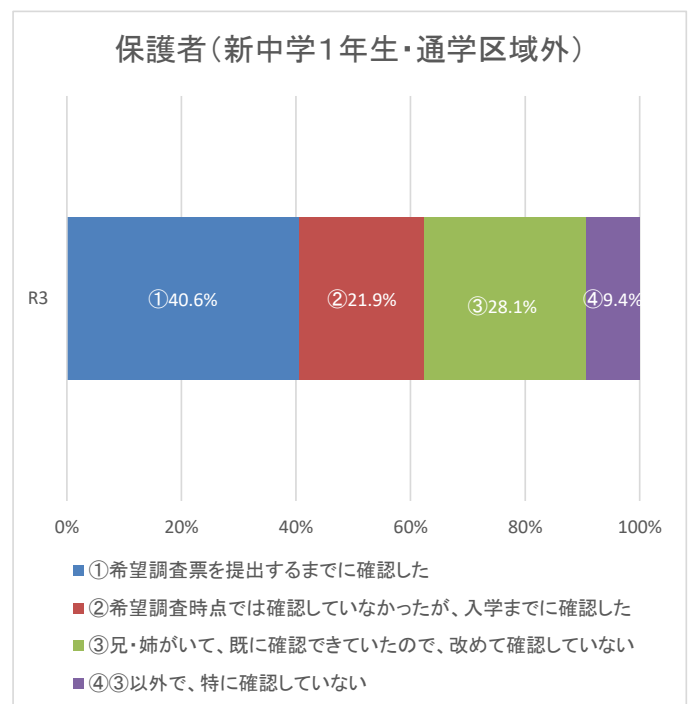
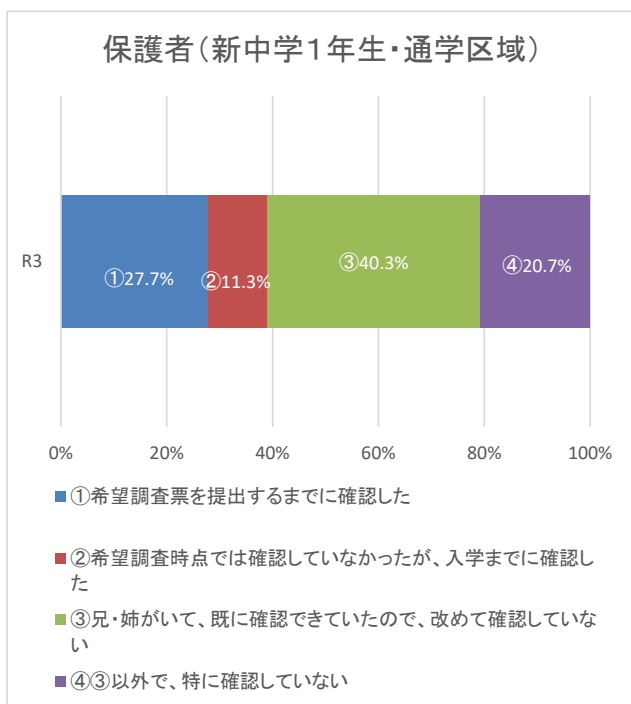
③通学路の安全や通学距離、通学に要する時間等について確認されましたか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問6、保護者アンケート(新中学1年生):問6】<1つだけ回答>

<保護者(新小学1年生)>



<保護者(新中学1年生)>



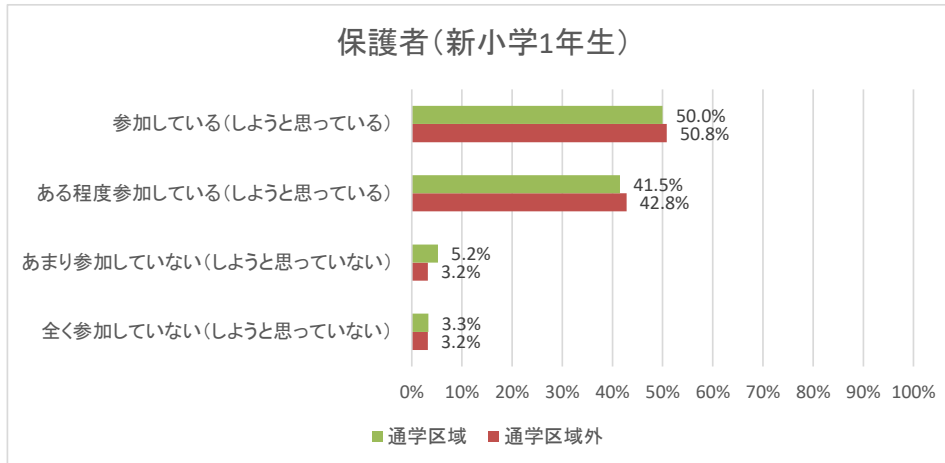
【視点⑥分析2】

通学区域外の保護者の方が、いずれかの時点で安全確認している割合が高くなっている。

【視点⑦】学校と地域、保護者の連携に課題が生じていないか

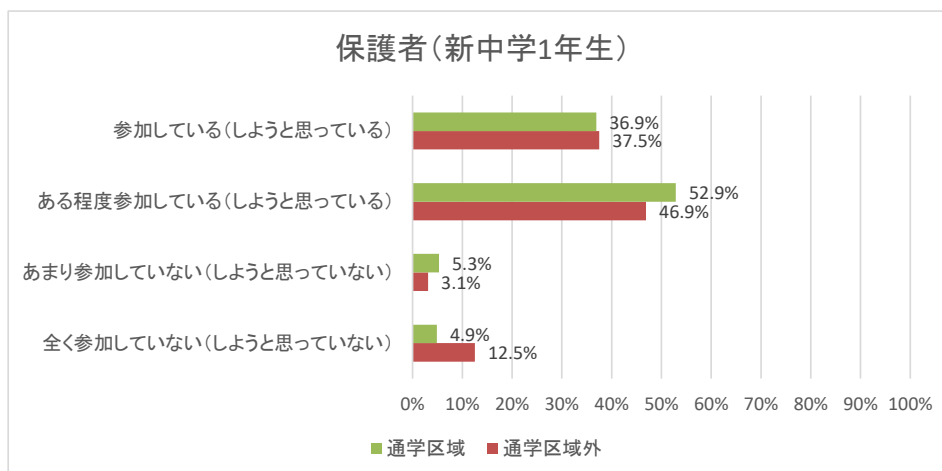
①あなたは、お子さんが通っている学校の行事（運動会、授業参観など）や、PTAの活動（親子レクリエーション、登下校の見守りなど）に参加していますか、又は今後参加しようと思っていますか。

【保護者アンケート（新小学1年生）：問13、保護者アンケート（新中学1年生）：問13】＜1つだけ回答＞



【理由】

- 「参加している（しようとしている）」「ある程度参加している（しようとしている）」を選択した方
 - ・子ども達の役に立ちたいから。
- 「全く参加していない（しようと思っていない）」「あまり参加していない（しようと思っていない）」を選択した方
 - ・コロナの関係で行事がなくなったから。

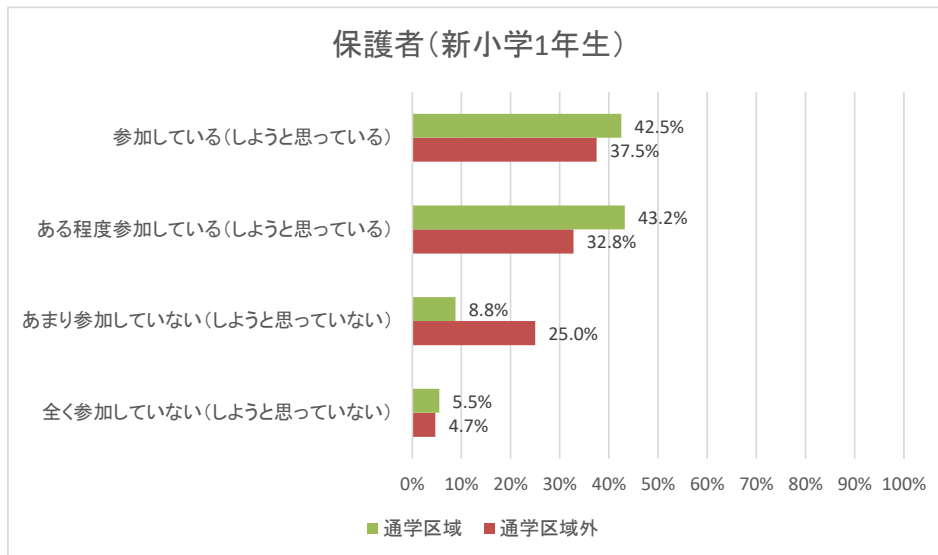


【理由】

- 「参加している（しようとしている）」「ある程度参加している（しようとしている）」を選択した方
 - ・学校の行事、参観で子どもの成長や様子を確認したいから
- 「全く参加していない（しようと思っていない）」「あまり参加していない（しようと思っていない）」を選択した方
 - ・仕事で時間が合わないから

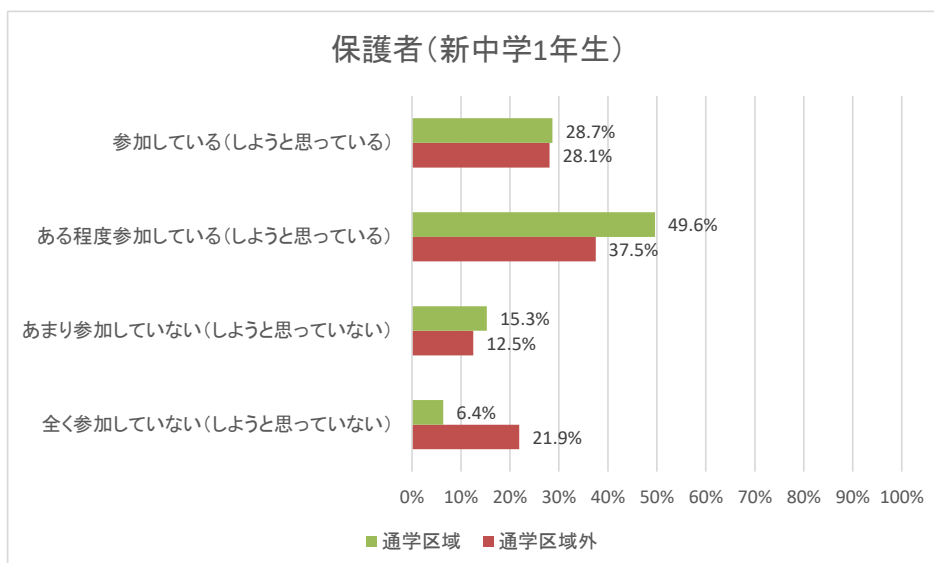
②あなたのお子さんは、住んでいる地域の行事(祭り等)に参加していますか、又は今後参加しようと思っていますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問14、保護者アンケート(新中学1年生):問14】<1つだけ回答>



【理由】

- 「参加している(しようとしている)」「ある程度参加している(しようとしている)」を選択した方
 - ・様々な活動を経験したいため
- 「全く参加していない(しようと思っていない)」「あまり参加していない(しようと思っていない)」を選択した方
 - ・どんな行事や取り組みをしているのか分からないので、参加しづらい

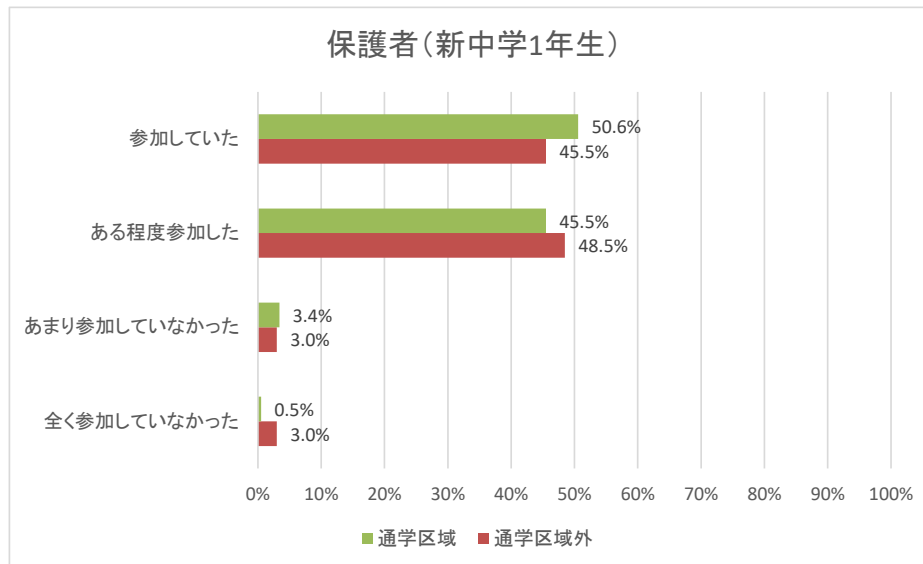


【理由】

- 「参加している(しようとしている)」「ある程度参加している(しようとしている)」を選択した方
 - ・地域の方たちとのつながりを大切にしたいから
- 「全く参加していない(しようと思っていない)」「あまり参加していない(しようと思っていない)」を選択した方
 - ・子ども本人が興味を持っておらず、参加を勧めても乗り気ではないから

③あなたは、お子さんが卒業した小学校(運動会、授業参観など)の行事や、PTAの活動(親子レクリエーション、登下校の見守りなど)にどの程度参加しましたか。

【保護者アンケート(新中学1年生):問20】<1つだけ回答>

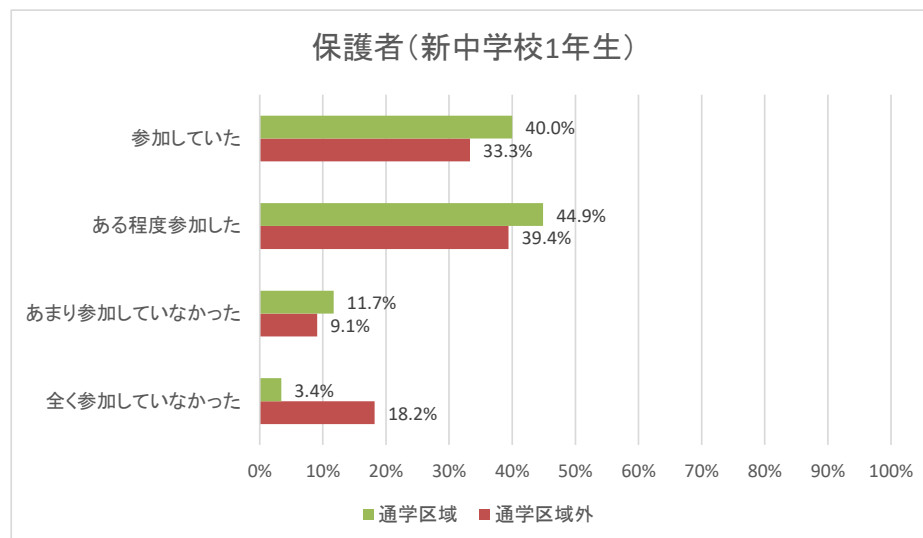


【理由】

- 「参加している(しようとしている)」「ある程度参加している(しようと思っている)」を選択した方
 - ・子どもの学校での活動など様子がわかるから
- 「全く参加していない(しようと思っていない)」「あまり参加していない(しようと思っていない)」を選択した方
 - ・仕事で時間がないため

④あなたのお子さんは、小学校のときに住んでいる地域の行事(祭り等)に参加していましたか

【保護者アンケート(新中学1年生):問21】<1つだけ回答>

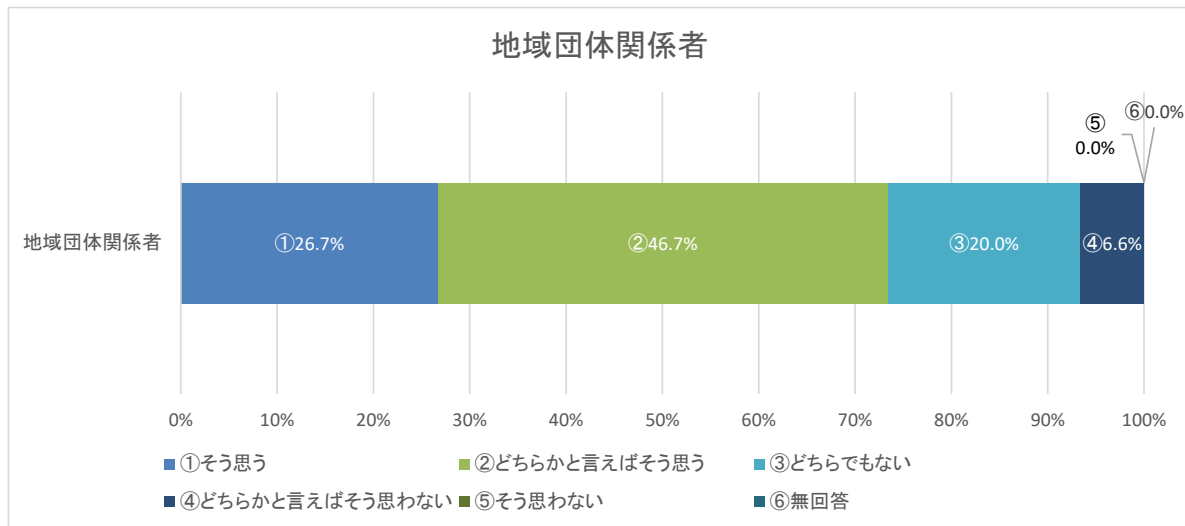


【理由】

- 「参加している(しようとしている)」「ある程度参加している(しようと思っている)」を選択した方
 - ・友達と一緒に参加できて楽しいため
- 「全く参加していない(しようと思っていない)」「あまり参加していない(しようと思っていない)」を選択した方
 - ・コロナの関係で行事が開催されなかったため

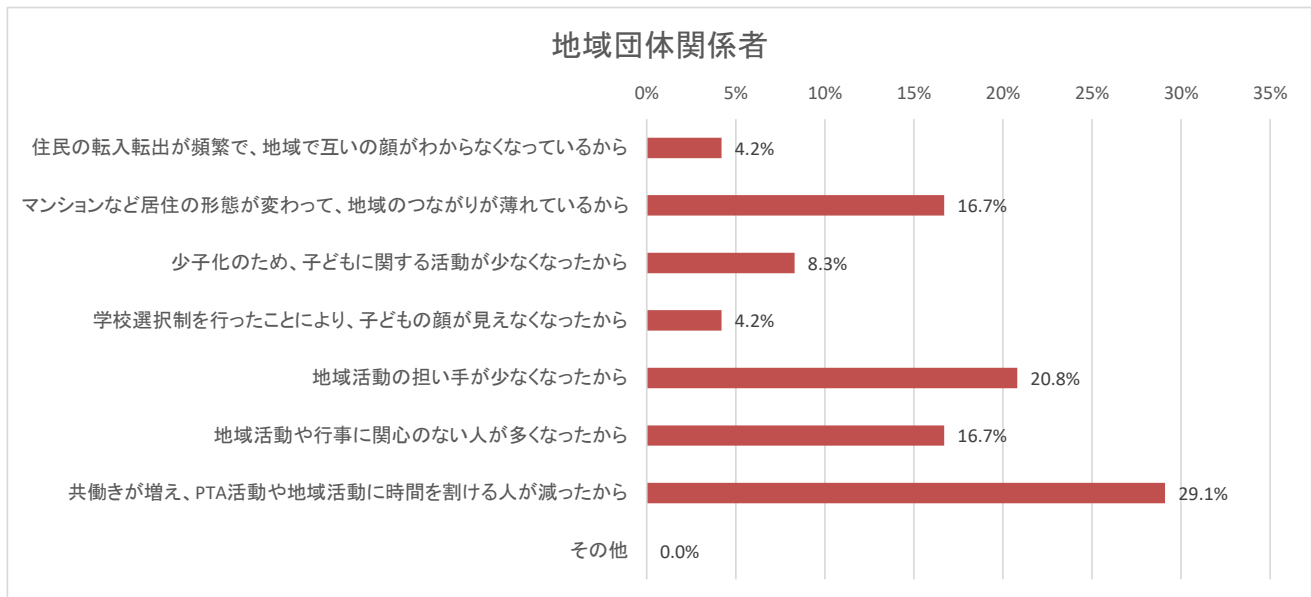
⑤「地域の繋がりが薄くなっている」という意見がありますが、あなたはと思いますか。

【地域団体関係者アンケート：問3】＜1つだけ回答＞



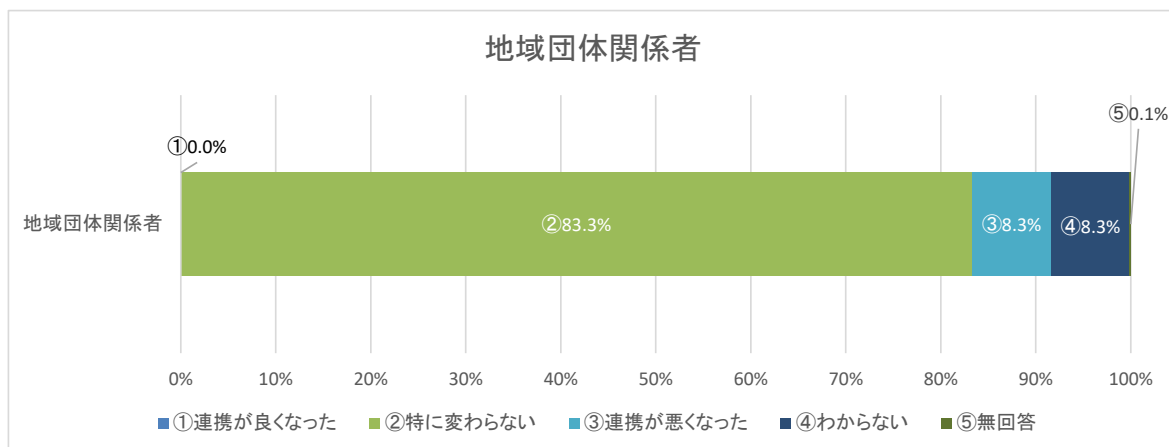
⑥上記の設問で「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」とお答えいただいた方にお尋ねします。
それは何が原因だと思いますか。

【地域団体関係者アンケート：問4】＜3つまで回答可＞



⑦学校選択制の導入により、あなたの地域における学校と地域の連携にどのような影響がありましたか。

【地域団体関係者アンケート:問5】<1つだけ回答>

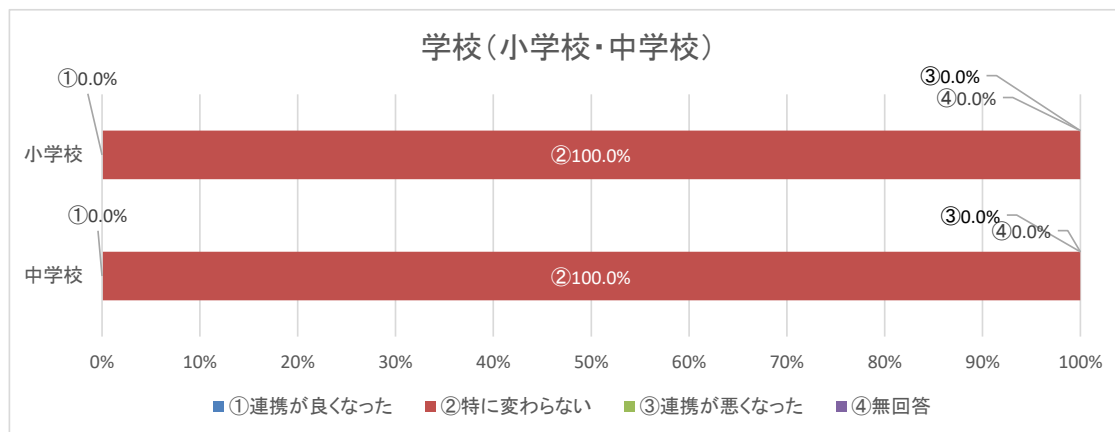


【そのように考えた具体的な出来事など】

- ・コロナ禍の影響によりコミュニケーションが最小限である
- ・学校選択制の導入と地域における学校と地域の連携とは余り関係の無い
- ・同じ地域から皆と逆やちがう方向に歩いて登校する子供みまもりの方々とまどう

⑧学校選択制の導入により、あなたの学校における学校と地域、保護者の連携にどのような影響がありましたか。

【学校状況調査:問11】<1つだけ回答>



【そのように考えた具体的な出来事など】

- ・熱心な保護者はもともと連携を大事にしているため良い連携が取れるが、仕事が忙しい保護者は学校選択制に関らずなかなか連携を取るのが難しく、校区外からきている場合は連携の取りにくい保護者もいる
- ・学校選択制の導入そのものによって、保護者との連携に影響がでるとは考えていない(生活様式などの変化により学校と保護者・地域との連携が変化しているようには思われる)
- ・今後、選択制による入学生徒が多くなると、学校と地域・保護者間の連携に影響も考えられる

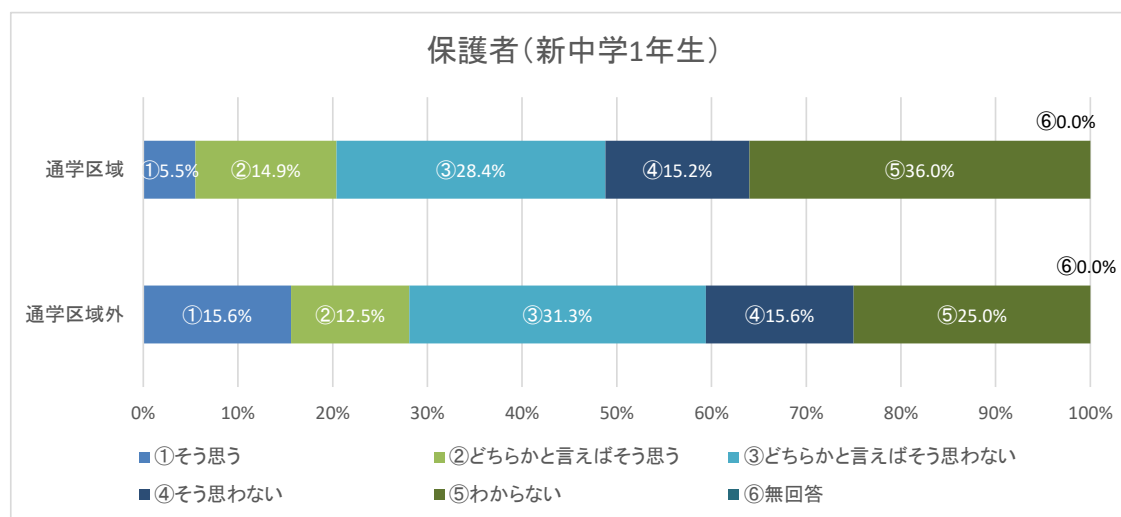
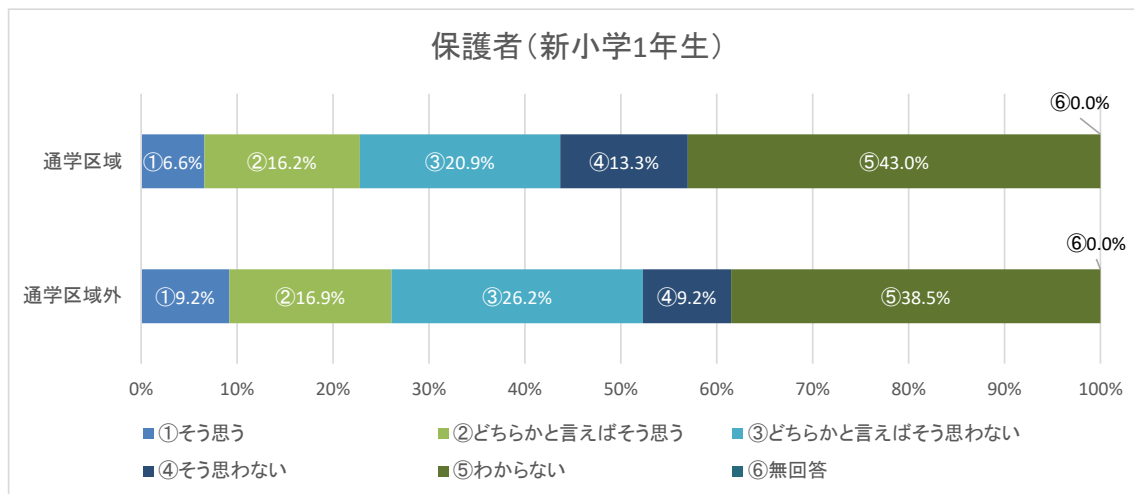
【視点⑦分析】

通学区域外の学校に通う保護者や子どもについては、区域内と比べて、地域行事への参加がやや低い傾向にある。地域、学校とも「特に変わらない」と考えているところが多いが、地域には一部課題意識をもっているところも見られる。

【視点⑧】区や学校が提供する情報ではなく、風評等による学校の選択がなされていないか

①大阪市では、学校案内や学校説明会、学校公開等において、各校の情報を提供しています。あなたや他の方も含め、風評(うわさ)等による学校の選択が行われていると思いますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問16、保護者アンケート(新中学1年生):問16】<1つだけ回答>

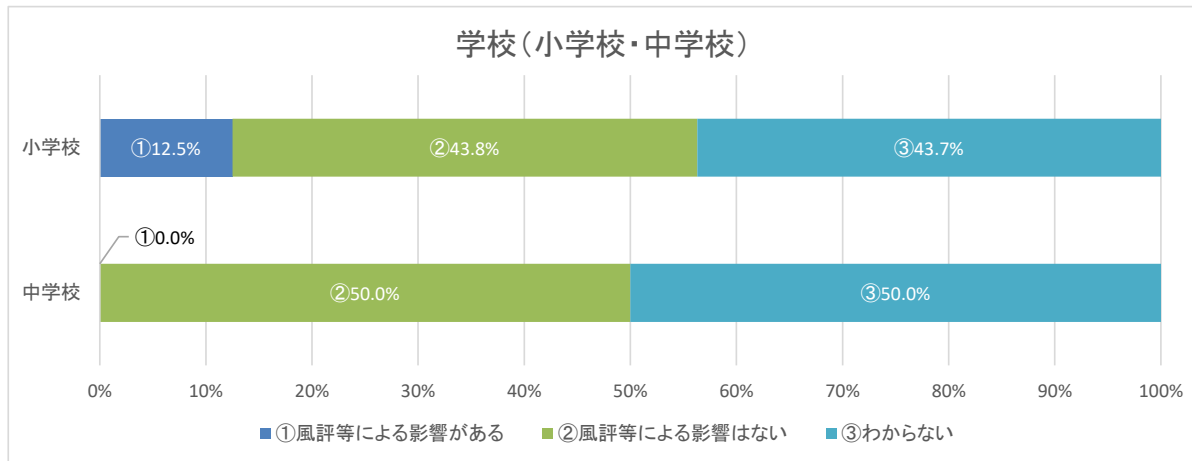


【具体的な風評の内容】

- ・学力等の差
- ・先生が熱心かどうか
- ・障害のある子どもへの理解があるかについて
- ・いじめに関すること

②区や学校が提供する情報ではない風評(うわさ)等による学校選択によって、あなたの学校に影響がありますか。

【学校状況調査:問12】<1つだけ回答>



【そう考えた具体的な出来事等】

- ・学校選択で特別支援学級入級の希望者が増えた。(主に、幼稚園、保育所、療育施設等でのうわさと聞いている)

③学校選択にあたり、区役所や学校から提供されていた情報のほかに、どのような情報があればよかったと思いますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問17、保護者アンケート(新中学1年生):問17】<自由記述>

- ・学力向上、体力向上の為にどんな独自の取り組みをしているのか
- ・卒業生の保護者からの情報提供(口コミ)
- ・制服の値段
- ・実際に通っている生徒の声
- ・特別支援級についての情報

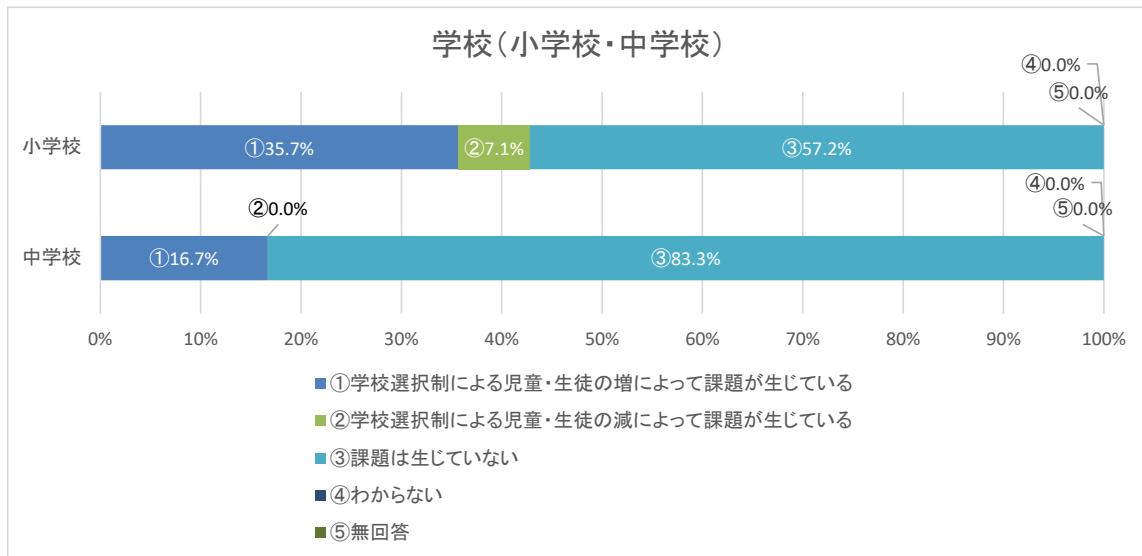
【視点⑧分析2】

保護者は、各区分とも約20～30%が市からの提供以外の情報により学校選択が行われていると回答している。大部分の学校は、そういった情報による影響は感じていない。

【視点⑨】学校選択制による児童生徒数の増減で、教育的課題が生じていないか

①学校選択制による児童・生徒の増減で、あなたの学校に教育的課題が生じていますか。

【学校状況調査：問13】＜1つだけ回答＞



【理由】

- ・ 学校選択で特別支援学級を希望される方がここ数年増えてきている。しかし、特別支援学級担当の教員・サポーターの人数、教室数は限られているため、確保に苦慮している。
- ・ 児童数の確定作業が煩雑になり、学級数の確定などができず、準備を進めづらい
- ・ 地区別児童会の活動が難しくなった。選択制で入学してくる児童についての情報が得にくい（就学時検診等の機会がないため）
- ・ 給食室内にある固定窯では、大人数の調理に際して対応できなくなってきている。回転窯を整備しないと、いずれ給食に対応できなくなる
- ・ 選択制で小学校の時に不登校や問題を抱えていたという児童が入学してきても、その生徒のケアに携わる人員の配置が伴わない
- ・ 年度末の就学事務処理を行う管理職を中心にした学校側の精神的な負担が大きい
- ・ 学校間格差の拡大や、学校・保護者・地域連携においては不安がある